



爽やかな 'スチールパン' ミニコンサート

今年も暑い夏でした。みなさんはこの暑い夏をどのように過ごされましたか。

楽器博物館では、この暑さの中、少しでもさわやかな気分を味わっていただこうと、スチールパンのミニコンサートを7月30、31日の2日間にわたって企画展示室で開催しました。

スチールパンは、中米カリブ海に浮かぶ島国トリニダード・トバゴの楽器です。トリニダード・トバゴは赤道に近く、年間を通して日中の最高気温は30℃を越す熱帯気候ですが、カリブ海を吹く貿易風のおかげで日本の夏よりも過ごしやすい、との声も聞かれます。

スチールパンの澄んだ音色は、まさにカリブの風。そんなさわやかな気分を、弘前大学スチールパン部の皆さんの演奏と、弘前大学助教授富田晃さんのお話でお届けしました。

弘前大学のスチールパン部は、スチールパンを演奏する日本で唯一の大学のクラブ活動として近年注目されています。そのスチールパン部を立ち上げたのが富田晃さん。富田さんはカリブ海諸国の文化研究者であり、写真家としても活躍されています。当日は茶目っ気のある楽しいお話を聞かせてくださいました。

ミニコンサートは映画音楽から始まりました。ディズニー映画「リトル・マーメイド」のテーマ曲

「アンダー・ザ・シー」。この映画の音楽を担当したのは、トリニダード出身の音楽家ということで、このテーマ曲も陽気でスチールパンにぴったり。2曲目は「サウンド・オブ・ミュージック」より「私のお気に入り」。きれいなハーモニーが会場に響きます。

映画音楽に続いては、クラシックの名曲、ゴセック作曲の「ガヴォット」やシューマン作曲の「子供の情景」より「知らない国の人々」。

さらに続いてビートルズの「イエスタディ」。この曲は静かにしっとりとした少人数のアレンジで聴かせてくれました。スチールパンのレパートリーはとて幅広く、ポピュラー音楽からクラシック音楽までいろいろな曲を演奏することができます。

夏休みで子どもたちも多く、みんなが大好きな「となりのトトロ」が登場すると、他の展示室にいた皆さんも企画展示室に駆けつけて、会場は熱気に包まれました。

2日間にわたって行われた計6回のミニコンサート。50～70人の聴衆の皆さんの大きな拍手は毎回なかなか鳴り止まず、それに応えて最後にもう一曲「世界に一つだけの花」を演奏。誰もが知っているこの曲にあわせて、歌や手拍子、マラカスやギロなどで全員で合奏しました。

楽しかったね！企画展「カリブのスチールパンと鉄の響き」

日時：平成17年7月20日(水)～8月31日(水)
会場：楽器博物館地下1階ステージ・企画展示室
観覧者数：13,869人(会期中の常設展観覧者数)

夏休みの時期に合わせて開催された企画展「カリブのスチールパンと鉄の響き」が終了しました。金属でできた打楽器を通して、人間が金属の響きに寄せた思いを感じていただくというこの企画展。お客様からは、「いろいろな楽器を体験できて楽しかった」「楽器それぞれに人間の考えが隠れていておもしろい」などの声をいただきました。

■世界の鐘

地下ステージにて、中国と韓国の編鐘、ヨーロッパのカリヨン、日本の喚鐘やアジア、アフリカのベルなど、世界のいろいろな鐘をご紹介します。権力の象徴でもある堂々としたものから、暮らしと結びついた素朴なものまでありますが、人々はそれぞれの音色に不思議な力があると考えてきたようです。



■カリブのスチールパン



スチールパンとともに、そのふるさとトリニダード・トバゴの写真を展示しました。写真は弘前大学助教授の富田晃氏、写真家のささなみ修至氏によるもので、美しい自然や人々の生活の様子が生き生きと映し出されており、会場は明るい雰囲気になりました。

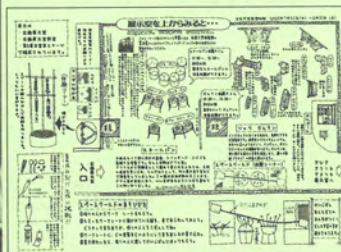
毎日13:30と15:30にはスチールパンの簡単な演奏をしていただく体験タイムを実施。初めは緊張されていたお客様も、カリブの心地よいリズムに身を任せていると次第に笑顔がこぼれ、楽しく演奏することができました。

■インドネシア・ジャワ島のガムラン

昨年に引き続き、好評のガムラン体験タイムを設けました。小さなお子様からお年寄りのかたまで、積極的に参加していただきました。



チラシ



パンフレット

■スペースワールド

ここはちょっと不思議な空間。宇宙をイメージした黒い展示台に、おもしろい道具が並んでいます。大きなボウルからくねくねとした鉄の棒が出ている「クラゲ星人」、2個の空き缶の間に長いばねがはってある「スペース・スプリング」など。音の出し方の決まりはありません。たたく、こする、ゆらす…。自由に宇宙の音を表現していただきました。皆さん、思いもよらなかったユニークな音にびっくりしたり、大笑いしたり…。見つけた宇宙の音は、ワークシートに記入してもらい、掲示板で紹介しました。



そのほかにも、身近にあるスプーンや金属のおはしで作った風鈴、山梨県清里の「ホール・オブ・ホールズ」から

借りたオルゴール(1895年頃・アメリカ製)、当館所蔵のアフリカのカリンバ、ギロやマラカスといったラテンの打楽器など、さまざまな金属の響きが展示室にあふれていました。



バンジョー・二胡・古箏レクチャーコンサート終わる



第57回 幕末に響いたアメリカ音楽～バンジョー～
 日時：平成17年7月10日(日) 14:00～16:00
 場所：アクトシティ浜松音楽工房ホール
 演奏：1854ジャパニーズ・オリオ・ミンストレルズ
 お話：原さとし

このコンサートでは、バンジョーの誕生から、ペリーの黒船で演奏された曲の復元、さらにオールドタイム、ブルーグラス、ジャズなどアメリカ音楽の歴史を、1854ジャパニーズ・オリオ・ミンストレルズのみなさんによるバンジョー他の演奏と楽しいお話で紹介しました。日本を代表する、様々なジャンル・スタイルのバンジョー奏者が一堂に会して、内容が濃くすばらしいものでした。また、昨年度浜松市楽器博物館が収集したバンジョーコレクションの中から、貴重なバンジョーも使用しました。バンジョーの陽気さと、哀愁たどようメロディが心にしみたコンサートでした。



第58回 中国情歌～二胡と古箏～
 日時：平成17年8月28日(日) 14:00～16:00
 場所：アクトシティ浜松音楽工房ホール
 演奏とお話：張勇(二胡)、季晶(古箏)

中国の伝統楽器、二胡と古箏のコンサートが開かれました。二胡は、唐の時代に西域から外来した楽器。哀愁を帯びた甘い音色に、日本でもファンの多い楽器です。演奏は、中国内外で活躍される張勇(ちょうゆう)さん。「草原情歌」など、日本でも馴染み深い曲も演奏され、会場からは口ずさむ姿もみられました。

古箏は、紀元前に生まれた中国起源の楽器。演奏者の季晶(きしょう)さんは、26本もの弦をしなやかに操り、優美で情感豊かな演奏で会場を沸かせました。悠久の調べに酔いしれるひと時でした。

バンジョーとジェンベを楽しんだワークショップ



日時：平成17年8月20日(土) Aコース13:00～14:30
 Bコース15:00～16:30

場所：アクトシティ浜松研修交流センター
 講師：寺崎卓也(ジェンベ演奏家)

昨年度に引き続き、今回もジェンベ演奏の第一人者寺崎卓也さんを講師にお招きして、ジェンベの演奏体験ワークショップを開催しました。このワークショップでは、西アフリカで演奏される代表的なリズムをみんなで作りました。最初はバラバラと音がなかなか合いませんでしたが、叩き続けるうちに徐々に一つの音にまとまって聞えてきました。ジェンベの本来の目的でもある「一つになる」感覚が芽生えたひと時でした。



日時：平成17年8月21日(日) Aコース13:00～14:30
 Bコース15:00～16:30

場所：アクトシティ浜松研修交流センター
 講師：原さとし(バンジョー演奏家)

バンジョー演奏家として名高い原さとしさんを講師に招き、バンジョーの演奏体験ワークショップを開催しました。簡単に演奏できるように工夫された教材の中から、参加者は好きな曲を選んで手ほどきを受け、約1時間で1曲をマスターしました。また、模範演奏では、3フィンガースタイルのブルーグラス音楽を披露していただき、バンジョーの陽気な音色を楽しみました。大きなバンジョーを抱えて、夢中に演奏する子どもたちが印象的でした。

5回連続講座「19世紀のピアノと社会」 第2回「フォルテピアノと個性」 7月2日(土) 19:00～20:30

コーディネーター：小岩信治(静岡文化芸術大学講師)
 ゲスト：小倉貴久子(東京芸術大学講師・ピアニスト)

小岩信治氏コーディネートによる、ピアノ文化講座。第2回ゲストはフォルテピアノ奏者、小倉貴久子さん。当館所蔵ピアノの中から、グラーフなど6台を演奏してくださいました。各楽器にゆかりのある音楽家やピアノ職人のエピソードと、楽器の個性をみごとにいかした選曲・演奏に、19世紀のピアノの本質を味わうことができました。



所蔵楽器のCD新発売!

各 2,200 円

ミュージアムショップ「アンダンテ」にて好評発売中
好評の当館CDに、新たなシリーズが仲間入りしました。今回も、所蔵楽器を使用した浜松市楽器博物館ならではの企画です。チェンバロ、フォルテピアノ、古管尺八の名器、また、作られた当時を想定して復元したクリストーフォリ・ピアノと、どれも大変貴重な録音。演奏は、日本を代表する名手である中野振一郎さん、小倉貴久子さん、志村哲さんにご協力いただき、すばらしい演奏を収めることができました。また、それぞれの解説文でも楽器や作品の魅力をわかりやすく伝えていただいています。
「いずれも制作者の熱意が伝わってくるような、充実した内容……各楽器のユニークな個性を、巧みな選曲と演奏によって手軽に楽しむことができる……特にプランシェの曲の輝かしい音色が

◆これからの催し物

- ギャラリートーク 毎日曜日
展示室ガイドツアー 展示品の解説
ミニコンサート 学芸員やゲストによる演奏
※内容：時間はお問い合わせ下さい。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日 10:00～16:00
1時間毎 チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- 講座「19世紀のピアノと社会」
第4回「『編曲もの』と19世紀のピアノ文化
ーベートーヴェンの作品を中心にー」10/27(木) 19:00
第5回「現代のピアニストと19世紀のピアノ文化」11/22(火) 19:00
コーディネーター：小岩信治(静岡文化芸術大学講師)
ゲスト：平野昭(静岡文化芸術大学教授)(10/27)
角野裕(東京芸術大学教授)(11/22)
- 講座「19世紀の管楽器」
11/6(日) 14:00 アクトシティ浜松研修交流センター
講師：佐伯茂樹(管楽器研究家)
- レクチャーコンサート
「イギリスのチェンバロ音楽～カークマン・チェンバロとスピネット～」
10/2(日) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：中野振一郎(チェンバロ)
「マリー・アントワネットの愛した楽器～ナーデルマン・ハープ～」
11/12(土) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：神藤雅子
「北欧のクリスマス～フィンランドのカンテレ～」
12/11(日) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：はざた雅子、佐野純子
「優しさのアイランド～アイリッシュ・フルートとハープ～」
1/14(土) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：守安功(アイリッシュ・フルート)、守安雅子(アイリッシュ・ハープ)
- 講座「楽器の中の聖と俗」
第34回 10/22(土)「東巴文化の音風景～中国雲南省麗江～」
第35回 1/21(土)「黎族のバンブーダンス～中国海南島～」
アクトシティ浜松研修交流センター
講師：西岡信雄(大阪音楽大学長、浜松市楽器博物館名誉館長)
- 世界の楽器体験ワークショップ
「バリ・ガムラン」
11/13(日) A 13:00～ B 15:15～
講師：皆川厚一(神田外語大学講師)
「チャング」
11/20(日) 入門 A 13:00～ B 15:00～
12/18(日) 中級 13:00～
講師：イ・チャンソプ(チャング演奏家)
「ジャワ・ガムラン」
2/4(土) 中級 A 10:30～
2/5(日) 中級 B 10:00～
2/11(土) 入門 A 10:00～ B 14:00～
講師：風岡純子(中京女子大学助教授)

浜松東ロータリークラブより液晶テレビ寄贈

国際ロータリークラブ誕生百周年を記念して、6月28日に浜松東ロータリークラブ(木谷胖会長)より、32型ハイビジョン液晶テレビとテレビ台を寄贈していただきました。展示品の紹介や演奏会の様子を館内で放映するなど、有効に利用させていただきます。ありがとうございました。

印象的……」(ぶらあぼ9月号)など、音楽誌からも絶賛をいただいています。



◆博物館日誌

- 7/1(金)～7/3(日)
新浜松市誕生記念無料開放 入場者2,600名
講座「19世紀のピアノと社会」第2回「フォルテピアノと個性」
19:00 展示室 参加42名
コーディネーター：
小岩信治(静岡文化芸術大学講師)
ゲスト：
小倉貴久子(東京芸術大学講師・ピアニスト)
- 7/4(月)～7/6(水)
移動楽器博物館(浜松市立泉居小学校)
7/10(日)
レクチャーコンサート「幕末に響いたアメリカ音楽～バンジョー～」
14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：1854ジャパニーズ・オリオ・ミンストレルズ 入場者145名
- 7/20(水)～8/31(水)
企画展「カリブのスチールパンと鉄の響き」
入場者13,869名
- 7/30(土)、7/31(日)
ギャラリートークとスチールパン・ミニコンサート
14:00他計6回 展示室 参加335名
トーク：冨田晃(弘前大学助教授)
演奏：弘前大学スチールパン部
世界の楽器体験ワークショップ「ジェンベ」
13:00～、15:00～ 参加20名
講師：寺崎卓也(ジェンベ演奏家)
- 8/21(日)
世界の楽器体験ワークショップ「バンジョー」
13:00～、15:00～ 参加26名
講師：原さとし(バンジョー演奏家)
レクチャーコンサート「中国情歌～二胡と古箏～」
8/28(日)
14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
入場者219名
演奏：張勇(二胡)、季晶(古箏)

◆6月～8月の観覧者数

	6月	7月	8月	3ヶ月の合計	開館からの累計
大人	3,680	5,834	7,655	17,169	671,619
中人	42	129	360	531	26,746
小人	620	1,289	2,442	4,351	149,753
幼児	96	545	660	1,301	40,722
計	4,438	7,797	11,117	23,352	888,840

利 用 案 内

開館時間：午前9:30～午後5:00
休館日：毎月第2水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、
その他施設点検等のための臨時休館日
常設展観覧料： 個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)
大人(大学生以上) 400円 320円 240円
中人(高校生) 200円 160円 120円
※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。
館内には、手荷物の持ち込みはできません。

浜松市楽器博物館だより

平成17年10月1日発行 No.41
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 静岡県浜松市板屋町108-1
TEL. 053-451-1128
FAX. 053-451-1129
URL: <http://www.actcity.jp/gakki/>
mail: gakki@actcity.jp
印刷 株式会社シバプリント